



7/1 鶴岡中央工業団地管理組合創立 50 周年記念式典に出席

▶交番・駐在所整備計画案により、鶴岡中央交番は令和 7 年度に立て替え予定!!

山形県内の交番及び駐在所全体の約3割が建て替えの目安を超えており、人口動態や交通環境の変化等といった長期的な視点を踏まえつつ、整備計画が進められています。

<令和6年度>

山形警察署(柏倉、古館駐在所を統合し、駐在所を新設)、**酒田警察署(本町交番の建て替え)**

<令和7年度>

山形警察署(楯山、高瀬駐在所を統合し、駐在所を新設)、**鶴岡警察署(中央交番を建て替え)**

▶山形県エネルギー戦略の進捗状況!!

山形県エネルギー戦略の進捗状況が示されました。2030 年度の開発目標 101.5 万 kW に対し、2022 度末までの開発量(累計)では、**69.3 万 kW**(稼働分と計画決定分)となっています。

区分	2030 年度 (開発目標)	2021 年度末 (累計)	2022 度末 累計(進捗率)
風力発電 (電源)	45.8 万 kW	8.2 万 kW	62.0 万 kW (70.6%)
太陽光発電 (電源)	30.5 万 kW	34.8 万 kW	8.1 万 kW (17.8%)
中小水力発電 (電源)	2.0 万 kW	2.2 万 kW	2.6 万 kW (117.8%)
バイオマス発電 (電源)	1.4 万 kW	13.1 万 kW	15.0 万 kW (1,072.6%)
地熱・天然ガス等 (電源)	8.1 万 kW	0.2 万 kW	0.2 万 kW (2.5%)
バイオマス熱 (熱源)	3.4 万 kW	3.8 万 kW	4.0 万 kW (117.7%)
その他熱利用 (熱源)	10.4 万 kW	3.1 万 kW	3.3 万 kW (32.3%)
合計	101.5 万 kW	65.4 万 kW	69.3 万 kW (68.2%)

明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員 **高橋 淳**^{じゅん}(県政レポート No.19)

<高橋淳事務所> 発行日:令和 5 年 7 月 11 日(火)

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732

Mail:takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4 階受付)

▶日頃の活動等を Facebook で確認いただけます。



▶県議会6月定例会閉会!!一般会計6月補正予算額など18議案を可決!!

今回の補正予算は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して支援するとともに、本県が直面する様々な課題に対応するため編成した内容です。

7月10日に本会議を開き、2023年度一般会計補正予算46億5,400万円など18議案を原案通り可決し、「**免税軽油の課税免除措置の継続**」と、「**食料・農業・農村基本法の見直し**」を求める請願2件を採択いたしました。



<主なもの>

(1)エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援

○子ども食堂等、フードバンク活動支援、県立高校への栄養バランスや量が保った給食支援

(2)消費下支え等を通じた生活者支援

○市町村が取組むLPガス料金の負担軽減、プレミアム商品券支援など

(3)省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援
○省エネ家電への買い換えキャンペーン、住宅の新築・リフォームへの支援など

(4)医療機関、介護施設、障がい福祉サービス施設等に対する物価高騰対策支援

○医療機関及び社会福祉施設の物価高騰支援など

(5)農林水産業における物価高騰対策支援

○施設園芸農業者の省エネ設備支援、畜産農家の飼料価格、漁業者の燃油・資材価格、農業用水利施設の電気料高騰など

(6)中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援

○特別高圧で受電している県内中小企業等の電気料金高騰への支援(鶴岡市の企業等からも要望を頂きました)

(7)地域公共交通や地域観光業等に対する支援

○地域の移動手段確保のため、バス及びタクシー事業者が負担する従業員の二種免許取得費用支援など
その他諸課題への対応(詳しくは県HPを参照)。

▶「医療的ケア児を抱える家族の会」から 支援体制の拡充を求める要望書を手交!!

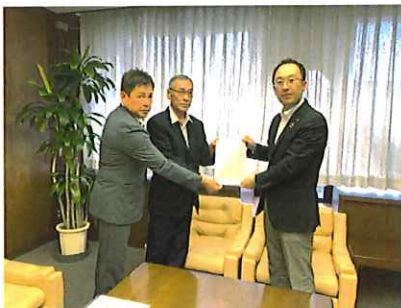
日常的に、たんの吸引や人工呼吸器などが必要な医療的ケア児・者やその家族の支援体制拡充につなげようと、看者がショートステイ出来る施設の設置などを求める要望書を、6月22日に山形県健康福祉部の柴田次長に手交致しました。



その後、吉村県知事にお会いし、「家族の会」側から日頃の苦しい状況などをお伝えしたところです。

▶山形県と鶴岡市に水産業の活性化などの 要望書を手交!!

6月25日、鶴岡市魚市場有限会社の五十嵐社長及び鶴岡市魚商協同組合の佐藤理事長との連名により、庄内浜水産物の認知度向上と消費拡大策、燃油・資材価格高騰の影響などによる支援について、皆川鶴岡市長に要望書を手交いたしました。



▶新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の「移行計画」の策定について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の5類感染症に位置付けされました。これに伴い、医療提供体制は、国民の安全を確保するために必要となる感染対策や準備を講じつつ、幅広い医療機関で新型コロナの患者が受診できる通常の対応へと段階的な移行を目指しています。

都道府県は、今後の方針や目標等を示した9月末までの「移行計画」の策定を行うとしております。

なお、健康福祉部では、10月以降、最大入院患者数(想定)536人を、全67病院で対応。外来対応医療機関を約730箇所としております。

▶県議会閉会中の委員会日程(見込み)

閉会中の8月委員会は、8月21日(月)に議会運営委員会、22日に各常任委員会、23日に特別委員会が開催される見込みとなっています。

▶総務常任委員会での質疑要旨 7/5開催

○コロナ禍で深刻化した運転手不足が解消されていない状況を踏まえ、バス及び事業者が負担する二種免許取得費用に対し、助成するための経費として950万円を計上しているが、其々の運転者不足の減少率、助成内容及び地域従業員確保の試算をどのようにみているのか。

○今回の保税予算に代行業は含まれていないが、県内の状況を見ると、県内の自動車運転代行業者数については、コロナ禍によって△20業者が減っている。県内の台数は420台しかなく、コロナ前と比較すると△188台の随伴用自動車が大幅に減っているが、補正予算に組み入れなかった理由について。

○トラックドライバーの働き方改革に関する法律が2024年4月から適用される一方、物流の停滞が懸念される「2024年問題」に直面している。

今後の課題となっている物流に関して、県としてはどのように取り組むのか。併せて、山形県での物流GXについての実績と費用コストについて。など

◆県議会レポートあとがき

7月に入り、活発な梅雨前線の影響で、九州北部などで記録的な大雨が続き、甚大な被害が続いております。災害等でお亡くなりになられました方々へのお悔やみと、被害に遭われた多くの皆様方にお見舞い申し上げます。

山形県では、この4年間で7月下旬から8月上旬に、大雨による甚大な被害に遭われました。気候変動の影響による豪雨災害の激甚化・頻発化が発生しています。危険が生じる前に、自ら早めに命を守る行動をお願いいたします。



山形県の児童虐待の状況は、令和4年度の通告件数は延べ1,104件で、前年度より72件減少しているものの、虐待と認定された件数は実数で655件、令和3年度より38件増加です。長期的に増加傾向が続いており、県民への啓発と関係機関との連携による対応が必要と感じています。

※児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」

昨年度から県側などに要望をお願いしていた、庄内地域の国道及び県道のセンターラインなどが綺麗に整備されました。月山道路も good です!!

これから暑さも厳しくなります。熱中症対策など、体調管理には十分気を付けてください!!